

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第2回弘前市社会福祉問題対策協議会
開 催 年 月 日	平成29年2月2日（木）
開始・終了時刻	午後2時から午後3時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所新庁舎3階 防災会議室
議長等の氏名	葛西 久志
出 席 者	弘前市社会福祉問題対策協議会委員 葛西 久志 外13名
欠 席 者	葛原 徹
事務局職員の 職 氏 名	健康福祉部理事兼福祉事務所長 須藤 悟 健康福祉部理事兼福祉政策課長 赤石 仁 福祉政策課長補佐 蒔苗 元 主幹兼総務係長 工藤 善仁 総務係主事 中畑 まどか 総務係主事 千葉 勝博 総務係主事 今 亮平
会 議 の 議 題	「(仮称) 要配慮者の防災マニュアル」の作成について
会 議 結 果	下記の会議録のとおり
会議資料の名称	1、福祉避難所開設訓練の実施結果について 2、「福祉避難所開設・運営マニュアル」の改訂について 3、福祉避難所開設・運営マニュアル【平成29年2月改訂版】 4、「青森県災害時における宿泊施設の提供等に関する協定の締結」について 5、「(仮称) 要配慮者の防災マニュアル」の作成について

<p>会議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)</p>	
<p>司 会</p>	<p>はじめに協議会委員の委嘱状交付を執り行います。 今般、弘前市民生委員児童委員協議会からの推薦委員が交代となりました。新たに委員となられる、牧野俊一様におかれましては、須藤健康福祉部理事から委嘱状の交付がございますので、その場にご起立ください。 なお、任期は、弘前市社会福祉問題対策協議会運営規則第2条1項に基づき、前任者の残任期間となります。</p>
<p>司 会</p>	<p>【委嘱状交付】</p> <p>ただ今から、平成28年度第2回弘前市社会福祉問題対策協議会を開催いたします。 なお、本日は、葛原 徹委員が所用のため欠席となっております。 開会にあたり、健康福祉部理事から挨拶があります。</p>
<p>健康福祉部理事</p>	<p>健康福祉部理事の須藤でございます。 平成28年度第2回弘前市社会福祉問題対策協議会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。 委員の皆様におかれましては、日頃から市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。 さて、災害時における高齢者や障がい者など、いわゆる「要配慮者」の生活環境の確保につきましては、皆様のご意見やご助言を踏まえながら、福祉避難所の確保や開設マニュアルを策定してきたところです。さらに昨年9月には、福祉避難所の開設訓練を初めて実施し、実効性の確保に努めてまいりました。 こうした取り組みは、皆様のご支援の賜物であり、改めて感謝申し上げます。 市では、今後も福祉避難所の確保に向けた取り組みを継続し、検証を重ねながら、災害時の要配慮者支援の充実に努めてまいります。 本日の協議会では、要配慮者支援の更なる充実に向けて、新たな協議テーマを事務局から提示いたしますので、皆様におかれましては、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。</p>

<p>司 会</p>	<p>します。</p> <p>それでは、次第にしたがい進めてまいります。 ここからは葛西会長に進行をお願いいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>会長の葛西です。 本日の会議は概ね、3時30分頃を目途としておりますので、議事進行につきまして、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>次第に従って進めてまいります。まず、次第の4、報告事項1と2について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>事務局の福祉政策課の蒔苗と申します。よろしくお願いいたします す。</p> <p>それでは初めに報告1を説明いたしますので、資料をご覧ください。</p> <p>【福祉避難所開設訓練の実施結果について】 〈資料に基づき説明〉</p> <p>それでは、当日の訓練の様子を映像にまとめておりますので、委員の皆様はスクリーンをご覧ください。</p> <p>〈福祉避難所開設訓練について映像放映〉</p> <p>以上で、報告1の説明を終わります。 続いて報告2に移ります。お手元の資料をご覧ください。</p> <p>【「福祉避難所開設・運営マニュアル」の改訂について】 〈資料に基づき説明〉</p> <p>報告1、2については以上となります</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいまの報告について、ご質問等ありますでしょうか。</p>
<p>会 長</p>	<p>実際に見て感じたことですが、訓練の流れもスムーズでよかったが、開設までのスピード感がほしかった。本部への確認が多く、すぐ開設する場合に、もう少しスピード感があつたほうが良いと思っ</p>

事務局	<p>たのと、災害時要配慮者避難選定班のスキルアップ、受け入れる施設の準備体制や訓練を継続していくことが必要と感じました。</p> <p>初めての訓練もあり、実際に想定をイメージすると、やりとりもこのくらい必要と考えました。今後の検討といたします。</p> <p>災害時要配慮者避難選定班につきましても、継続してスキルアップを行う必要があるので、他の自治体を参考にしていきたいと思います。</p> <p>また、福祉避難所の協定締結施設に対して、積極的に受け入れ体制の説明をしていきたいと思います。</p>
会長	<p>各委員の方、ご質問等ありませんでしょうか。</p>
秋山委員	<p>今、議長がおっしゃったように災害時要配慮者避難選定班の存在が大事だと思いました。災害時には、指定避難所に選定班が何人かずつ行くということになるのですか。</p>
事務局	<p>指定避難所から要配慮者を思われる人がいると連絡があれば、それに合わせて選定班を組んで調査に向かうことになります。</p>
秋山委員	<p>そうすると最低でも、なんかあったときには、2つか3つの班を待機させておくということになると思います。ぜひ普段から、この方たちのスキルアップをしていくことが大事だと思います。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>報告2のマニュアルの方にもご質問等ありましたら。</p> <p>< なしの声あり ></p>
会長	<p>報告1、2については、ご質問ないようですので、これでよろしいかと思えます。</p> <p>つづいて次第の5、情報提供について、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>それでは、情報提供の資料をご覧ください。</p> <p>【「青森県災害時における宿泊施設の提供等に関する協定の締結」について】</p>

	<p>〈資料に基づき説明〉</p> <p>情報提供については以上になります。</p>
会 長	<p>ただいまの説明について、ご質問等ありますでしょうか。</p>
三浦委員	<p>施設経営をしており、各地で被害にあわれた方からお聞きしたことです。災害時はパニック状態で情報が伝わらないと。警察、自衛隊、消防署の応援がきて、いろいろな方が避難所に運ばれるが、移送先が解るのが一週間経ってからだったりした。どこに誰がいて、どういう状態の方なのか把握できなかったそうです。</p> <p>さきほどの映像を見て、訓練時と違い災害時には、要配慮者に名前を聞く事ぐらいしかできないと思います。私たち施設側は、入所者の方の名札に血液型、病歴、服用薬等をつける必要を感じました。</p> <p>しかし、行き先とかの情報については災害本部が収集して記録できるような、災害時に電話もつながらなくなるので、そうしたシステムを考えていただきたいと思います。</p>
事 務 局	<p>皆様のお手元に改訂のマニュアルがあると思いますが、最後のほうに要配慮者選定シートとして、実際に調査に入りますと、まずこのシートでもって市の職員が聞き取りを行います。</p>
福祉政策課長	<p>このシートで聞き取りを行い、その結果、どこの避難場所が適切かということで、現在の場所か、もしくは福祉避難所か、学校の場合だと、少し隔離したところを作って福祉避難室とか。例えば授乳とか小さい子供さんがいるのであれば、そちらに入れるとか、このシートを活用して選別することになります。</p> <p>先ほど、お話が出ましたが、大事なことはトリアージを適切に行うことですので、ここに力を入れていきたいと考えております。</p>
会 長	<p>他に情報提供のところで何かご質問等ありませんでしょうか。</p>
秋山委員	<p>この選定シートを見て、障害者手帳とかありますけど、皆さんが持っているものとして、「お薬手帳」があります。医療側からすると、「お薬手帳」があるかないかで、糖尿であるとか何があるとか一目瞭然でわかりますので、「お薬手帳」を1冊用意しておくとう便利だと思います。一応提案ということで伝えておきます。</p>
事 務 局	<p>次のテーマにも関係してきますが、いざというときに「お薬手帳」</p>

	<p>を持っていくということも、新しく作成するマニュアルに記載できればと思います。</p>
会 長	<p>次のテーマに移りたいと思います。次第の6、協議事項について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>【(仮称) 要配慮者の防災マニュアル」の作成について】 〈資料に基づき説明〉</p> <p>協議事項については以上となります。</p>
会 長	<p>今、要配慮者の防災マニュアルの作成ということで説明がありました。協議する事項、内容としてはマニュアルの作成、概要、掲載項目について協議していただきたいとのことですが、何かご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
三浦委員	<p>施設は避難場所を引き受けます。職員も全力で応援しますが、女性の職場です。小さい子供を持っていますし、彼女たちも被災者になります。ですから、弘前は大学があるというのが財産だと思いますので、支援者の方をたくさん募って組織を作るというのは大きな力になるかと思っています。</p>
会 長	<p>大学によるボランティアについて、これから弘大とか連携しながらやっていきたいと思いますという動きがあります。</p>
山内委員	<p>障がい者の方を見ていると、自分の障がいを隠す方がいます。そういうこともありますので、どのようにして、そういった方の理解を得られるかが一番問題ではないかと思っています。</p> <p>資料にもありますが、地域との交流が一番肝心だと思います。なんらかの団体に入っていれば、災害時に連絡が取れるが、団体に入らないので連絡が取れません。ですから、町会とか民生委員とかを通して、マニュアルを地域に広めた方がいいと思います。</p>
事 務 局	<p>地域でも実際、障がいを抱える方がいても、わからない方もいるかと思っています。マニュアルの完成と配布を通じて、少しでもつながりができればなと思いますので、そういった視点も入れながら、作成できればと思います。</p>
健康福祉部理事	<p>5年前に福祉避難所マニュアルを作成し、そのマニュアルが改訂</p>

	<p>され、さらに要配慮者のマニュアルを作るということで、次のステップに進んだと。5年の間に熊本では大きな災害がありました。</p> <p>これから、どのような災害があるかわかりませんが、普段からの心がけと訓練が非常に大事であり、今後も積み重ねて、いいものを作らないといけないと思っておりますので、気が付いたときに皆様から連絡をいただければと思います。</p> <p>私たちがいろいろな施設にフィードバックし、さらにいいものにしていきたいと考えております。</p>
柳田委員	<p>マニュアルっていうのは非常に便利ですし、助かるものではあるが、反面危険な面もあります。マニュアルを作ると安心してしまう。それで出来たような気がしてしまう。マニュアルは大事ですが、マニュアルどおりいかないことが災害ではないでしょうか。</p> <p>マニュアルは賛成ではあるものの、いいようなもので危険なものでもある両面性を持っているものということを認識しておくべきだと思います。</p>
事務局	<p>マニュアルが出来上がって満足するのではなく、出来上がったものをどういうふうを活用していくのか確認しながら、作業を進めていくことが必要と思います。</p> <p>また、福祉避難所のマニュアルも各施設に説明に行くような形を取りながら、理解を深めていければと思います。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>< なしの声あり ></p>
会長	<p>では、時間も限られておりますので、そろそろまとめに入りたいと思います。</p> <p>今日出た意見をまとめますと、有事の際にはパニック状態になってしまって、情報の伝わり方がうまくいかない。そういったこともあるので、きちんと情報の収集をして、先ほど、選定シートにもありましたけど、そういったものにきちんと記録する。</p> <p>それから選定シートの中身についても、「お薬手帳」を明記すればいいのではないかというご提案もありました。</p> <p>それから、地域での交流が大事なのではないか。大学がもう少しこういった災害時に組織を作るといったものもありました。</p> <p>そして最後にマニュアルについて危険性が伴うものでありますので、やはり、訓練を継続していくことで、精度を高めていくことが</p>

<p>事務局</p>	<p>必要であるとの意見がありました。 以上です。</p> <p>市では今回の会議録を後日、ホームページに掲載することにして おりますので、皆様のほうに後日、会議録を確認していただくこと にしております。また、本日の意見等を踏まえまして、次回の会議 では、市の方で説明していきたいと思っておりますので、よろしくお願 いいたします。なお次回は、29年8月頃を目途に予定しております。 以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの事務局のお話でご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>< なしの声あり ></p>
<p>会長</p>	<p>今日は以上を持ちまして、会議を閉じます。皆様のご協力に感謝 申し上げます。 進行を事務局に返します。</p>
<p>司会</p>	<p>それでは、これを持ちまして、平成28年度第2回弘前市社会福 祉問題対策協議会を終了いたします。 本日は、お忙しいところ、ありがとうございました。</p> <p>< 散会 ></p>